

一般廃棄物最終処分場の今後のあり方

現 状

施設名称：石垣市一般廃棄物最終処分場
埋立予定期間：平成 11～26 年度（約 15 年間）
全埋立容量：約 140,000 m³
残余容量：約 28,000 m³（H29.3 月現在）
年間埋立容量：約 4,000 m³（直近 5 年平均）

現状のペースで埋立処分が進行すると、
最終処分場の残余年数は、4～5 年程度

※埋立完了時は 50 cm 以上の最終覆土が必要
【最終覆土量：15,200 m²×50cm=7,600 m³】

施設更新（新設）

- ・ 建設用地の確保が必要
- ・ 用地決定後、環境調査から施設設計及び工事完成まで、4～5 年間必要

現処分場の延命化対策

埋立物の掘起こし

- ・ 可燃物のみを選別し、現有焼却施設で焼却処理（焼却施設の改造が必要）
- ・ 掘起こしごみ全量を民間委託（島外へ船舶輸送）

堰堤かさ上げによる処分容量の増

- ・ 埋立地内に土堰堤を築造し、数年間の延命対策

民間委託

- ・ 最終処分対象ごみ全量を民間委託（島外への船舶輸送）
- ・ 輸送用コンテナ等への積み込み作業のための中継施設の整備が必要